



2024年3月4日

各 位

会 社 名 株式会社ファンペップ
代表者名 代表取締役社長 三好 稔美
(コード番号：4881 東証グロース)
問合せ先 取締役管理部長兼 CFO 林 毅俊
(TEL. 03-5315-4200)

アレルギーワクチンに関する塩野義製薬株式会社との資本業務提携 及び第三者割当による新株式発行に関するお知らせ

当社は、2024年3月4日開催の取締役会において、当社が開発中の抗IgE抗体誘導ペプチド「FPP004X」に関して塩野義製薬株式会社（以下「塩野義製薬」又は「割当予定先」といいます。）と資本業務提携（以下「本資本業務提携」といいます。）を行うこと、並びに塩野義製薬に対して第三者割当による新株式（以下「本株式」といいます。）の発行を行うこと（以下「本第三者割当増資」といいます。）を決議いたしましたので、お知らせいたします。

I 本資本業務提携の概要

1. 本資本業務提携の理由

当社は、大阪大学大学院医学系研究科の研究成果である機能性ペプチド「AJP001」を強みとして展開する抗体誘導ペプチドプロジェクトを中心に医薬品の研究開発を進めております。開発段階にある抗体誘導ペプチドは、標的タンパク質 IL-17A に対する FPP003、標的タンパク質 IgE に対する FPP004X 及び標的タンパク質 IL-23 に対する FPP005 です。

このうち、FPP004X は、標的タンパク質 IgE (Immunoglobulin E) に対する抗体誘導ペプチドですが、IgE は、アレルギー反応に重要な役割を果たしており、アレルギー性疾患の発症に関与しております。当社は、FPP004X について、2025年からの日本国内での臨床試験開始を目指して花粉症（季節性アレルギー性鼻炎）を対象疾患とする前臨床試験を進めておりました。

本資本業務提携において、当社開発品の FPP004X の研究開発に塩野義製薬が強みを持つ医薬品開発のノウハウを活かすことにより、効果の持続性が長いというワクチンの特長を生かした利便性の高い花粉症治療薬の研究開発を推進いたします。

FPP004X の対象疾患である花粉症は、スギやヒノキ等の植物の花粉に対する過剰なアレルギー反応を起こすアレルギー疾患です。代表的な症状は、くしゃみ、鼻水、鼻づまりや目のかゆみなどです。

日本国内の全国疫学調査による有病率¹は、2019年に花粉症全体で42.5%、患者数の多いスギ花粉症で38.8%と高く、またそれぞれ10年前（2008年）と比較して10%以上上昇しています。

このため、政府は花粉症を多くの国民を悩ませ続けている社会問題として捉え、2023年4月から「花粉症に関する関係閣僚会議」を開催して花粉症対策に取り組んでいます。

抗体誘導ペプチドは、患者様の体内で標的タンパク質に対する抗体産生を誘導することにより治療効果を期待するペプチド治療ワクチンです。標的タンパク質 IgE に対する抗体誘導ペプチド FPP004X

は、体内で免疫細胞が IgE に対する抗体を一定期間産生させることから、花粉症に対する持続的な効果が期待されます。この効果の持続期間が長いというワクチンの特長により、当社は、花粉症のシーズン（飛散時期）前に投与すればシーズンを通して症状を緩和できる、患者様にとって利便性の高い新しい治療選択肢を提供することを目指して FPP004X の医薬品開発を進めています。

塩野義製薬は、取り組むべきヘルスケア社会課題の中で、「健やかで豊かな人生への貢献」をマテリアリティ（重要課題）として特定し、これまでもダニアレルギーに対する減感作療法薬を開発・販売するなど、いきいきとした豊かな暮らしの実現を目指した取り組みを進めてきました。引き続き、アンメットメディカルニーズの高い花粉症に対する画期的な治療法をお届けできるよう努力し、患者さまの QOL の向上に貢献する予定です。

本資本業務提携において塩野義製薬が当社株式を追加取得することにより、当社は医薬品開発に強みを持つ塩野義製薬との関係強化を図り、また調達資金を FPP004X 開発費へ充当し、アレルギーワクチン（抗体誘導ペプチド）の実用化へ向けた研究開発を推進してまいります。

ⁱ 松原 篤他. 鼻アレルギーの全国疫学調査 2019 (1998 年, 2008 年との比較): 速報 - 耳鼻咽喉科医およびその家族を対象として-. 日耳鼻 2020;123:485-490.

2. 本資本業務提携の内容

(1) 業務提携の内容

当社は、2024 年 3 月 4 日付で、塩野義製薬との間で抗体誘導ペプチド FPP004X に関するオプション契約（以下「本オプション契約」といいます。）を締結しました。

本オプション契約締結により、塩野義製薬は、当社が実施する臨床試験の結果等にもとづき、FPP004X の全世界における独占的研究開発及び商業化権を取得するオプション権を獲得します。

当社が実施する前臨床試験及び臨床試験については、研究開発連絡会により塩野義製薬との間で意見交換をしながら進めてまいります。

塩野義製薬と当社は、2015 年 10 月に締結した皮膚潰瘍治療薬 SR-0379 のライセンス契約にもとづき、現在日本国内での共同開発を進めています。本資本業務提携により両社の提携範囲は皮膚潰瘍治療薬 SR-0379 と抗体誘導ペプチド FPP004X へと 2 品目へと拡大いたします。

(2) 資本提携の内容

当社は、本第三者割当増資により、塩野義製薬に対して、当社普通株式 1,587,300 株（当社の 2023 年 12 月 31 日現在の発行済株式数の 6.55%（小数点以下第 3 位を四捨五入。議決権比率について以下同様））を割り当てます。本第三者割当増資の詳細については、後記「II 第三者割当による新株式の発行」をご参照ください。

塩野義製薬は、皮膚潰瘍治療薬 SR-0379 に関する業務提携先であり当社株式を保有しています。同社は現在当社の第 3 位の株主（当社株式 1,095,200 株を保有）ですが、本第三者割当増資により当社の筆頭株主（当社株式 2,682,500 株を保有予定、2024 年 3 月 21 日（予定）の発行済株式数 25,843,800 株の 10.38%を保有）へ異動する予定です。

当社は、2020 年 12 月の株式上場以降、株式上場に伴う調達資金（以下「上場調達資金」という）及び 2021 年 12 月発行の第 9 回新株予約権による調達資金により医薬品等の研究開発を進めてまいりました。抗体誘導ペプチド FPP004X の開発に対しては上場調達資金に続いて本第三者割当増資の調達資金を充当する予定です（2023 年 8 月 14 日付「資金使途及び支出予定時期の変更に関するお知らせ」に記載した通り、上場調達資金のうち FPP004X の開発費に充当予定の 176,191 千円は 2024 年 12 月までに充当予定です（2024 年 1 月末までに 158,811 千円を充当いたしました））。

第9回新株予約権による調達資金の充当状況については、後記「Ⅱ 第三者割当増資による新株式の発行 10. 最近3年間の業績及びエクイティ・ファイナンスの状況」、2024年3月4日付「資金使途及び支出時期の変更に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 本資本業務提携先（割当予定先）の概要

(1) 名 称	塩野義製薬株式会社			
(2) 所 在 地	大阪府大阪市中央区道修町3丁目1番8号			
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役会長兼社長 CEO 手代木 功			
(4) 事 業 内 容	医薬品、臨床検査薬・機器の研究、開発、製造、販売など			
(5) 資 本 金	21,279百万円（2023年3月31日現在）			
(6) 設 立 年 月 日	1919年6月5日			
(7) 発 行 済 株 式 数	307,386,165株（2023年3月31日現在）			
(8) 決 算 期	3月31日			
(9) 従 業 員 数	（連結）5,680名（2023年3月31日現在）			
(10) 大株主及び持株比率 （2023年3月31日現在）	日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）		19.33%	
	株式会社日本カストディ銀行（信託口）		8.13%	
	住友生命保険相互会社		6.25%	
	株式会社SMB C信託銀行 （株式会社三井住友銀行退職給付信託口）		3.19%	
	日本生命保険相互会社		2.82%	
	BANK OF CHINA (HONG KONG) LIMITED-PINGAN LIFE INSURANCE COMPANY OF CHINA, LIMITED		2.13%	
	STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234		1.68%	
	JP MORGAN CHASE BANK 385632		1.62%	
	株式会社三井住友銀行		1.54%	
	NORTHERN TRUST CO. (AVFC) SUB A/C AMERICAN CLIENTS		1.40%	
(11) 当事会社間の関係				
資 本 関 係	割当予定先は、当社株式1,095,200株を保有しています。			
人 的 関 係	該当事項はありません。			
取 引 関 係	当社は、2015年10月13日付で割当予定先との間で、当社開発品SR-0379に関するライセンス契約を締結しております。			
関 連 当 事 者 へ の 該 当 状 況	該当事項はありません。			
(12) 最近3年間の経営成績及び財政状態（単位：百万円。特記しているものを除く。）				
	決算期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
資 本 合 計		864,550	993,285	1,121,878
資 産 合 計		998,992	1,150,601	1,311,800
1株当たり 親会社所有者帰属持分(円)		2,806.67	3,236.21	3,737.76
売 上 収 益		297,177	335,138	426,684
営 業 利 益		117,438	110,312	149,003
親会社の所有者に帰属する 当 期 利 益		111,858	114,185	184,965

基本的 1 株当たり 当期利益（円）	365.03	378.75	621.31
1 株当たり配当金（円）	108.00	115.00	135.00

(注)「主要取引先」「主要取引銀行」は、本資本業務提携先から情報を入手できなかったため、非開示としております。

4. 日程

(1) 本資本業務提携及び本第三者割当に関する取締役会決議日	2024年3月4日
(2) 本第三者割当増資の払込期日	2024年3月21日

5. 今後の見通し

当社は、本オプション契約締結に伴い、塩野義製薬から契約締結に伴う一時金、オプション権が行使された場合のライセンス契約の契約一時金、開発進捗に応じた開発マイルストーン及び販売額に応じた販売マイルストーンの合計として最大 178 億円を受取ります^(注)。さらに販売額に応じたロイヤリティを受取ります。また塩野義製薬から約 2 億円の出資を受け入れる予定です。

なお、本オプション契約締結に伴い一時金 3 億円を受領いたしますが、その会計処理については、収益認識に関する会計基準に基づき、当社の履行義務の充足に応じた収益の計上時期（2024 年 12 月期又はそれ以降の年度）を現在精査中であり、当社グループの 2024 年 12 月期の業績への影響について、今後開示すべき事項が発生した場合には速やかにお知らせします。

また、2023 年 12 月期決算短信（2024 年 2 月 14 日付公表）において公表した 2024 年 12 月期の研究開発費の見込みに変更はありません。

当社は、塩野義製薬との協力関係の下、FPP004X の前臨床試験及び臨床試験を進め、アレルギーワクチンの早期実現に向けて研究開発を推進してまいります。

(注) 当社は、2016 年 2 月に株式会社メディパルホールディングスとの間で抗体誘導ペプチドプロジェクトの研究開発支援に関する提携契約を締結しております。FPP004X は、この提携契約に基づく利益分配等の対象開発品に選定されており、当社は、塩野義製薬から受取る本オプション契約に伴う一時金、オプション権が行使された場合のライセンス契約の契約一時金及び開発マイルストーンの一定率を株式会社メディパルホールディングスに支払う予定です（本件の詳細については、2023 年 8 月 24 日付公表資料「メディパルホールディングスによる選択権行使について」をご参照下さい）。

II 第三者割当による新株式の発行

1. 募集の概要

(1) 払込期日	2024年3月21日
(2) 発行新株式数	普通株式 1,587,300 株
(3) 発行価額	発行価額 1 株につき 126 円 発行価額の総額 199,999,800 円
(4) 調達資金の額	197,499,800 円（差引手取概算額）
(5) 資本組入額	資本組入額 1 株につき 63 円 資本組入額の総額 99,999,900 円
(6) 募集又は割当方法 （割当予定先）	第三者割当の方法によります。 塩野義製薬 1,587,300 株
(7) その他	前記各号については、金融商品取引法による届出での効力発生を条件とします。

2. 募集の目的及び理由

(1) 資金調達の目的及び理由

上記「I 本資本業務提携の概要 1. 本資本業務提携の理由」をご参照ください。

(2) 資金調達方法の概要

今回の資金調達は、第三者割当の方法による新株式の発行によるものであり、当社が割当予定先に対し本株式を割り当て、割当予定先からの金銭の払込みによって、払込期日に当社の資本が増加する仕組みとなっております。

(3) 資金調達方法の選択理由

第三者割当による新株式の発行は、業務提携先との関係を強化できることに加え、必要資金を一時に確実に調達でき、資本の充実を図り財務基盤の強化を実現できるメリットがあります。したがって、以下の他の資金調達方法との比較も踏まえ、今回の資金調達方法として最適であると判断いたしました。

① 社債、借入による資金調達

調達金額が負債となるため、一般的に財務健全性に悪影響を与えることとなります。創薬系ベンチャー企業の当社の場合は、医薬品の研究開発に長期に及ぶ先行投資が必要であり、現在は期間損益のマイナスが続いております。当社が研究開発に必要な資金の調達を社債や借入により行おうとする場合、収益の安定性、担保力等の観点で困難を伴うことから、今回の資金調達方法としては適切ではないと判断いたしました。

② 公募増資及び株主割当による新株式の発行

本第三者割当増資と同様に財務基盤の強化に資するとともに、資金調達が一時に可能となるものの、第三者割当増資による新株式の発行と比較し、調達に要する時間がかかるうえ、コストも割高になります。また、今回は、資本業務提携先との間で株式保有を通じた関係強化を図りたいことから、今回の資金調達の方法としては適切ではないと判断いたしました。

③ 新株予約権の発行

資本の充実を図り財務基盤を強化できるものの、発行時点において必要資金を一時に調達するのは困難です。また、今回は、資本業務提携先との間で株式保有を通じた関係強化を図りたいことから、今回の資金調達の方法としては適切ではないと判断いたしました。

3. 調達する資金の額、使途及び支出予定時期

(1) 調達する資金の額

① 払込金額の総額	199,999,800円
② 発行諸費用の概算額	2,500,000円
③ 差引手取概算額	197,499,800円

(注1) 発行諸費用の概算額の内訳は、弁護士費用、登記関連費用、有価証券届出書等の書類作成費用及び信託銀行手数料です。

(注2) 発行諸費用の概算額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 調達する資金の具体的な使途

具体的な使途	金額(千円)	支出予定時期
抗体誘導ペプチド FPP004X の開発費	197,499	2024年12月期

(注1) 前臨床試験や臨床試験等の開発又は探索研究中のテーマに対する研究は一般的に複数年度に渡って実施

すること、また実施期間の不確実性が高いことから、重要性の観点から支出予定時期は、年度単位のレンジで表示しております。

(注2) 調達資金は、上記の資金使途に充当するまでの間、当社預金口座にて保管する予定です。

- ・ 抗体誘導ペプチド FPP004X の開発費

FPP004X は、現在前臨床試験を進めております。

今回の調達資金は、2025 年からの日本国内での臨床試験実施に向けて、前臨床試験、治験薬製造及び臨床試験費用等の開発費として、2024 年 12 月期に 197,499 千円を充当する計画です。

FPP004X の開発費については上場調達資金 176,191 千円（2024 年 1 月末までに 158,811 千円を充当済み）の充当が終わり次第、本第三者割当増資の調達資金を 2024 年 12 月までに充当する予定です。

なお、2023 年 8 月 14 日付「資金使途及び支出予定時期の変更に関するお知らせ」に記載した第 9 回新株予約権による調達資金の FPP004X の開発費に充当予定の金額（235,234 千円）と今回の調達資金（197,499 千円）の差額については、手許資金を充当する予定です。

4. 資金使途の合理性に関する考え方

今回調達する資金は、FPP004X の開発費に充当する予定です。これらの研究開発を進めることは、将来の収益の拡大につながり得るものであり、当社の中長期の事業成長及び企業価値向上並びに既存株主の利益に資するものであると判断しており、上記の資金使途は合理的なものであると考えております。

5. 発行条件等の合理性

(1) 払込金額の算定根拠及びその具体的内容

本株式の払込金額は、割当予定先との協議を踏まえ、本株式の発行に係る取締役会決議の直前取引日（2024 年 3 月 1 日）の株式会社東京証券取引所（以下「東京証券取引所」といいます。）における当社普通株式の終値と同額である 126 円といたしました。取締役会決議の直前取引日の終値と同額を採用することといたしましたのは、直近の株価が現時点における当社の客観的企業価値を適正に反映していると判断したためです。また、日本証券業協会「第三者割当増資の取扱いに関する指針」（2010 年 4 月 1 日制定）にも準拠していると考えています。なお、当該払込金額 126 円につきましては、本株式の発行に係る取締役会決議の直前取引日（2024 年 3 月 1 日）までの直近 1 か月間の当社普通株式の終値の平均値 132 円（小数点以下を四捨五入。以下、平均株価の計算について同様に計算しております。）に対する乖離率が△4.55%（小数点以下第 3 位を四捨五入。以下、株価に対する乖離率の数値の計算について同様に計算しております。）、同直近 3 か月間の当社普通株式の終値の平均値 138 円に対する乖離率が△8.70%、同直近 6 か月間の当社普通株式の終値の平均値 149 円に対する乖離率が△15.44%となります。

また、当社監査役 3 名（うち社外監査役 3 名）全員から、本第三者割当増資の払込金額は、本株式の発行に係る取締役会決議の直前取引日（2024 年 3 月 1 日）における当社普通株式の終値と同額である 126 円であり、当社株式の価値を表す客観的な値である市場価格を基準に、日本証券業協会の「第三者割当増資の取扱いに関する指針」に準拠し、当社の直近の財政状態及び経営成績等を勘案して決定されたもので、適正かつ妥当であり、割当予定先に特に有利な金額ではなく、適法である旨の意見を得ております。

(2) 発行数量及び株式の希薄化の規模が合理的であると判断した根拠

本第三者割当増資における新規発行株式数は 1,587,300 株（議決権数 15,873 個）であり、2023 年 12 月 31 日現在の当社発行済株式総数 24,236,500 株（議決権総数 242,285 個）を分母とする希薄化率は 6.55%（議決権ベースでの希薄化率は 6.55%）に相当します。

しかしながら、本第三者割当増資は、割当予定先と当社の間の本資本業務提携に基づき実施されるものであり、本資本業務提携を履行することは、中長期的な視点から今後の当社の企業価値、株主価値の向上に寄与するものと見込まれ、既存株主の利益にも資するものと判断しております。

また、割当予定先は当社株式を長期的に保有する方針であり、今回の発行数量及びこれによる株式の希薄化の規模並びに流通市場への影響は上記の目的達成のうえで合理的であると判断いたしました。

6. 割当予定先の選定理由等

(1) 割当予定先の概要

上記「I. 本資本業務提携の概要 3. 本資本業務提携先(割当予定先)の概要」をご参照ください。

なお、割当予定先は、東京証券取引所プライム市場に株式を上場しており、割当予定先が東京証券取引所に提出した2023年6月30日付「コーポレート・ガバナンスに関する報告書」において、反社会的勢力排除に向けた基本的な考え方及びその整備状況を公表しているため、当社は、割当予定先関係者について、反社会的勢力とは一切関係がないと判断しています。

(2) 割当予定先を選定した理由

上記「I. 本資本業務提携の概要 1. 本資本業務提携の理由」をご参照ください。

(3) 割当予定先の保有方針

当社は、割当予定先は、本資本業務提携の趣旨に鑑み、本第三者割当増資により取得する当社株式を長期的に保有する方針であることを口頭で確認しております。

なお、当社は、割当予定先から、割当予定先が払込期日から2年以内に本件第三者割当により発行される当社普通株式の全部又は一部を譲渡した場合には、その内容を当社に対し書面により報告すること、当社が当該報告内容を株式会社東京証券取引所に報告すること、並びに当該報告内容が公衆の縦覧に供されることに同意することにつき、確約書を取得する予定です。

(4) 割当予定先の払込みに要する財産の存在について確認した内容

当社は、割当予定先が2024年2月9日に提出している第159期第3四半期 四半期報告書の要約四半期連結財政状態計算書により、本第三者割当増資に伴って割り当てられる本株式の払込みのために十分な現金及び現金同等物を保有していることを確認しております。

7. 募集後の大株主及び持株比率

募集前 (2023年12月31日現在)		募集後	
森下 竜一	5.53%	塩野義製薬株式会社	10.39%
SBI4&5 投資事業有限責任組合	4.91%	森下 竜一	5.19%
塩野義製薬株式会社	4.52%	SBI4&5 投資事業有限責任組合	4.61%
三好 稔美	4.23%	三好 稔美	3.97%
有限会社アドバンステクノロジー	4.13%	有限会社アドバンステクノロジー	3.87%
株式会社 ReBeage	3.45%	株式会社 ReBeage	3.23%
New Life Science 1号投資事業有限責任組合	3.27%	New Life Science 1号投資事業有限責任組合	3.07%
株式会社 SOLA	3.09%	株式会社 SOLA	2.90%
中神 啓徳	2.68%	中神 啓徳	2.52%
株式会社メディパルホールディングス	2.46%	株式会社メディパルホールディングス	2.30%

(注1) 持株比率は2023年12月31日現在の株主名簿に基づき、発行済株式総数(自己株式を含みます。)に対する比率を記載しております。

(注2) 持株比率は小数点第3位を四捨五入しております。

8. 今後の見通し

当社は、本資本業務提携及び本第三者割当増資は当社の中長期的な事業成長と企業価値向上に資すると判断しています。今後、適時開示の必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

なお、本第三者割当増資により、2023年12月期決算短信（2024年2月14日付公表）において公表した2024年12月期のその他の販売費及び一般管理費の見込みに変更はありません。

9. 企業行動規範上の手続きに関する事項

本件第三者割当は、①希薄化率が25%未満であること、②支配株主の異動を伴うものではないことから、東京証券取引所の定める上場規程第432条に定める独立第三者からの意見入手及び株主の意思確認手続きは要しません。

10. 最近3年間の業績及びエクイティ・ファイナンスの状況

(1) 最近3年間の業績（連結）

	2021年12月期	2022年12月期	2023年12月期
事業収益	—	1百万円	0百万円
営業損失（△）	—	△1,169百万円	△994百万円
経常損失（△）	—	△1,175百万円	△940百万円
親会社株主に帰属する当期純損失（△）	—	△1,172百万円	△933百万円
1株当たり当期純損失（△）	—	△61.04円	△39.63円
1株当たり純資産	—	125.79円	94.97円

（注）2022年12月期から連結財務諸表を作成しているため、それ以前については記載しておりません。

(2) 最近3年間の業績（単体）

	2021年12月期	2022年12月期	2023年12月期
事業収益	126百万円	1百万円	—百万円
営業損失（△）	△745百万円	△1,152百万円	△953百万円
経常損失（△）	△679百万円	△1,158百万円	△898百万円
当期純損失（△）	△682百万円	△1,150百万円	△900百万円
1株当たり当期純損失（△）	△39.58円	△59.90円	△38.25円
1株当たり配当金	—円	—円	—円
1株当たり純資産	178.57円	126.81円	97.22円

(3) 現時点における発行済株式数及び潜在株式数の状況（2024年3月4日現在）

	株式数	発行済株式数に対する比率
発行済株式数	24,256,500株	100%
潜在株式数 （ストック・オプション）	1,340,000株	5.5%

(4) 最近の株価の状況

① 最近3年間の状況

	2021年12月期	2022年12月期	2023年12月期
始値	635円	266円	157円
高値	744円	307円	286円
安値	238円	146円	122円
終値	274円	154円	135円

② 最近6か月間の状況

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
始 値	163 円	152 円	158 円	133 円	135 円	128 円
高 値	170 円	209 円	168 円	145 円	145 円	128 円
安 値	148 円	145 円	122 円	129 円	118 円	125 円
終 値	151 円	159 円	135 円	135 円	128 円	126 円

③ 発行決議日前営業日における株価

	2024年3月1日
始 値	128 円
高 値	128 円
安 値	125 円
終 値	126 円

(5) 最近3年間のエクイティ・ファイナンスの状況

・ 第三者割当による第9回新株予約権の発行

割 当 日	2021年12月13日
発行新株予約権数	43,000 個
発行 価 額	総額 3,741 千円
発行時における 調達予定資金の額 (差引手取概算額)	1,268,841 千円
割 当 先	株式会社SBI証券
募集時における 発行済株式数	17,322,300 株
当該募集による 潜在株式数	当初の行使価額 (297 円) における潜在株式数 : 4,300,000 株 行使価額下限値 (200 円) における潜在株式数 : 4,300,000 株
現時点における 行 使 状 況	行使済株式数 : 3,838,700 株 (残りの新株予約権 4,613 個 (461,300 株) は、2023年12月13日付で当社が 取得し、行使期間満了に伴い消滅いたしました。)
現時点における 調達した資金の額 (差引手取概算額)	781,212 千円
発行時における 当初の資金用途	① 抗体誘導ペプチド FPP003 の開発費として、2022年7月～2022年12月に 160,880 千円を充当 ② 抗体誘導ペプチド FPP005 の開発費として、2022年4月～2024年3月に 330,505 千円を充当 ③ 研究費として、2022年1月～2024年6月に 154,377 千円を充当 ④ 人件費として、2022年4月～2024年6月に 162,598 千円を充当 ⑤ 当社の安定的な研究開発活動の継続及び推進に必要な事業運営資金とし て、2022年1月～2023年9月に 460,481 千円を充当
変更後における 資 金 使 途 (2023年8月14日付)	主な変更内容は、開発品プロファイルの更なる向上を目指して新規製剤技術 の研究を優先することになり減少した FPP005 の開発費を FPP004X の開発費 へ充当する予定となったこと、臨床試験費用等が減少した FPP003 の開発費 を事業運営費の一部 (研究費及び人件費) に充当予定となったことです。資 金用途及び支出予定時期の変更内容の詳細については、2023年8月14日付

	<p>公表資料「資金使途及び支出予定時期の変更に関するお知らせ」を御参照下さい。</p> <p>① 抗体誘導ペプチド FPP003 の開発費として、2023 年 12 月期に 17,040 千円を充当</p> <p>② 抗体誘導ペプチド FPP004X の開発費として、2024 年 12 月期に 235,234 千円を充当</p> <p>③ 抗体誘導ペプチド FPP005 の開発費として、2022 年 12 月期～2024 年 12 月期に 84,288 千円を充当</p> <p>④ 研究費として、2022 年 12 月期～2024 年 12 月期に 209,707 千円を充当</p> <p>⑤ 人件費として、2022 年 12 月期～2024 年 12 月期に 276,809 千円を充当</p> <p>⑥ 当社の安定的な研究開発活動の継続及び推進に必要な事業運営資金として、2022 年 12 月期～2024 年 12 月期に 445,764 千円を充当</p>
<p>現時点における 充 当 状 況</p>	<p>変更後における資金使途（2023 年 8 月 14 日付）に対する充当状況は、以下のとおりです。主に調達金額が発行時の当初予定金額 1,268,841 千円から 781,212 千円へ減少したことから、各使途において充当金額が減少いたしました。なお、調達金額 781,212 千円は 2024 年 1 月末迄に全額を充当いたしました。</p> <p>資金使途及び支出時期の変更内容の詳細については、2024 年 3 月 4 日付公表資料「資金使途及び支出時期の変更に関するお知らせ」を御参照下さい。</p> <p>① 17,040 千円</p> <p>② - 千円</p> <p>③ 84,166 千円</p> <p>④ 144,113 千円</p> <p>⑤ 200,938 千円</p> <p>⑥ 334,955 千円</p>

(別紙)

株式会社ファンペップ
普通株式発行要項

1. 募集株式の種類
普通株式
2. 募集株式の数
1,587,300 株
3. 募集株式の払込金額
1 株につき 126 円
4. 払込金額の総額
199,999,800 円
5. 出資の方法
金銭を出資の目的とする。
6. 払込期日
2024 年 3 月 21 日
7. 増加する資本金及び資本準備金に関する事項
増加する資本金の額は、99,999,900 円（1 株につき 63 円）とし、増加する資本準備金の額は 99,999,900 円（1 株につき 63 円）とする。
8. 募集又は割当方法
第三者割当の方法による。
9. 割当先及び割当株式数
塩野義製薬株式会社 1,587,300 株
10. 払込取扱場所
株式会社みずほ銀行 築地支店
11. その他
(1) 上記各項については、金融商品取引法による届出の効力発生を条件とする。
(2) その他本株式に関し必要な事項は、当社代表取締役社長に一任する。

以 上